

2024年5月13日

各 位

会 社 名 ジャニス工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 富本 和伸
(コード番号 5342 名証メイン市場)
問合せ先 経営管理室長 都築 佳男
(電 話 0569-35-3150)

「第7次中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社はこのたび、2027年3月期（第93期）を最終年度とする「第7次中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

□背景

当社は2021年4月（第88期）から2024年3月（第90期）までの3ヵ年を対象とした「第6次中期経営計画」を策定し、『創造による再生 Regeneration by creation』をスローガンに掲げ、高品質なものづくりを基盤とした魅力ある商品と迅速なサービスを提供し、事業拡大を図ってまいりました。

その間におこなった主な施策としましては、ビルダー市場での受注獲得や資材・エネルギー価格の高騰に対し、商品価格改定を進めてまいりました。さらに、コロナ禍に対応する商材として玄関手洗器やマイクロファインバブルを発生させる水栓金具の販売やサステナブルデザインを採用した新商品「キュアーズ」を発売し、リフォーム市場を中心に新規開拓に努めてまいりました。また、アフターメンテナンス体制の強化や営業効率化を目指したホームページの改訂もすすめてまいりました。

生産面では、衛生陶器の高圧成形鑄込みによる省人化を中心としたコンパクト生産体制の確立や多能工・現場作業効率改善に向けた生産性向上の取り組みを進めてまいりました。また、ISO9001の全工場での認証維持、デザインレビューの強化徹底、品質管理システム構築を引続き進めてまいりました。

財務面では、BCPの観点からコミットメントラインの契約更新を行い、為替変動・燃料高騰に対する各種ヘッジ商品の活用や債権流動化含めた機動的な資金調達を進めてまいりました。

このような取り組みをしてまいりましたが、売上高は大幅な減収となり目標には届きませんでした。営業利益におきましても、資材・エネルギー価格の高騰に対し商品価格改定も実施しましたが、出荷量減少による売上高の減収に加え、価格改定後も部材調達価格の高騰があり、製造活動での十分な吸収ができず、大幅な損失計上となりました。

このような状況下、『100期へ向けて新たな時代への挑戦 Challenge of a new era』をスローガンとし、2024年4月（第91期）から2027年3月（第93期）までを対象とした「第7次中期経営計画」を策定いたしました。

この「第7次中期経営計画」におきましては、資材・エネルギー価格の高騰や賃上げ等による価格上昇分に対し、より一層の製造原価低減活動や一部販売価格改定を行い、お客様への高付加価値商品の提供の強化とさらなるサービスの向上を目指し、売上高の回復を図ってまいり

ます。

また、93期に向け持続可能な社会実現に貢献できる企業となるため、メーカーの基本であるISO（品質・環境）・改善活動を通じて品質・サービス改善、収益力改善、働き方改革、地域に根差したエコ活動を進めてまいります。

第7次（2024年4月～2027年3月）中期経営計画

スローガン：『100期へ向けて新たな時代への挑戦 Challenge of a new era』

1. 基本方針

(1) 売上げの確保

高付加価値商材による新規チャネル開拓と非住宅・リフォーム市場の拡販

(2) 顧客ニーズに対応した生産体制の再構築

大ロット品と少ロット品のフレキシブル生産と開発期間の短縮化

(3) 付加価値の高い商品・サービスの提供

デザイン性の高い商品・ロングライフ設計の商品の投入と顧客満足度の向上

(4) 環境負荷の低減

高効率設備導入とサプライチェーン連携の強化

(5) 働き方改革の推進

デジタル活用と生産性向上で世代交代とワークライフバランスの実現

2. 業績目標

(単位：百万円)

連結決算期	(ご参考)第90期 2024年3月期	第91期 2025年3月期	第92期 2026年3月期	第93期 2027年3月期
売上高	4,369	4,845	4,975	5,125
営業利益	△348	25	30	40
経常利益	△259	75	80	90
当期純利益	△1,176	40	45	55
営業利益率	—	0.5%	0.6%	0.7%
配当(円/株)	0	0	0	5

3. 各部門の主要施策

(1) 営業部門

【売上計画】

(単位：百万円)

連結決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
売上高	4,369	4,845	4,975	5,125
J a n i s	1,596	1,724	1,750	1,770
O E M 他	2,480	2,776	2,850	2,930
F T T	293	345	375	425

※ F T T・・・(株)ファインテック高橋（単独）

【主な施策】

- ① リフォーム市場を中心とした中・高級商品を販売する。
- ② デザイン洗面ボウルを中心としたホテル・マンション市場を新規開拓する。
- ③ ビルダーを中心としたトイレの拡販のためオリジナル商品を展開する。
- ④ アフターサービスに対する顧客満足度を向上させる。
- ⑤ メンテナンス業者とコラボしたトイレリフォームパックを提案する。

(2) 生産部門

【生産計画】

(単位：百万円)

連結決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
生産高	2,416	2,744	2,805	2,866
仕入高	1,524	1,620	1,656	1,692
設備投資	58	100	100	250

【主な施策】

- ① 主要大量商品の自動化生産ラインと、ニッチ商材のフレキシブルな生産ラインによる二刀流工場へ再編する。
- ② 安心安全なサプライチェーン（仕入メーカー・運送業者）の構築による中長期的な品質向上と製品の安定供給を推進する。
- ③ 環境負荷低減のため、高効率設備の導入によるカーボンニュートラルを推進する。

【主な設備投資】

- デザイン洗面ボウル生産設備への改造
- 衛生陶器高圧成形機の増設（△19 t）
- 衛生陶器シャトルキルン（△400 t）と樹脂製品インジェクション成形機の更新（△117 t）

※（ ）内は、2022年度比較のCO2削減量

(3) 開発部門

【開発目標】

- リフォーム市場向け中・高級商品の開発
- ホテル・マンション市場向けのデザイン洗面・手洗いボウル開発
- ビルダー向けトイレ・空間提案商品の開発
- 事業の収益改善としてのコスト削減
- 環境負荷低減のため、カーボンニュートラルへ対応した商品開発

【主な施策】

- ① 中高級リフォーム市場向けトイレ開発、新素材を活用したデザイン洗面ボウルの開発と手洗いボウルのバリエーション追加を行う。
- ② デザイン性・清掃性・ロングライフ化をより進めたトイレ商品の開発を行う。
- ③ 3Dデータを活用した開発工数の削減とスピードアップを行う。
- ④ 環境負荷低減材料の選定やリサイクル転用材料の積極採用をすすめ、流通含めたCO2削減を意識した商品開発を行う。

(4) 管理部門

【財務目標】

(単位：百万円)

連結決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
自己資本比率	23.3%	24.5%	25.5%	27.0%
ROA	—	0.6%	0.7%	1.0%
ROE	—	4.0%	4.3%	5.0%

※ ROA は営業利益ベース、ROE は純利益ベース

【人員計画】

連結決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
総人員数	230	235	240	245

【主な施策】

- ① シニア世代の活用と、ノウハウの蓄積・技能の伝承を通じて若い世代のスキルアップを推進し、業績を尊重し不確実性の時代を乗り切っていける人材を育成する。
- ② 為替変動・燃料高騰に対し各種ヘッジ商品の活用、債権流動化含めた機動的な資金調達体制を維持し、新商品開発・生産性向上・カーボンニュートラルへの積極投資に対応する。
- ③ 業績と自己資本比率を回復し、株主の皆様への復配を早期に実現する。

以上